

事業者排出量削減報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 26年 7月 31日					
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) 医療法人財団康生会 理事長 武田 隆司 電話 075-361-1351					
主たる業種	病院	細分類番号	8	3	1	1	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ					
計 画 期 間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基 本 方 針	エネルギー原単位で毎年1%程度の削減を目指す。						
計画を推進するための体制	院長 (理事) を委員長とする省エネルギー推進委員会において、目標計画の進捗管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増 減 率	
	事業活動に伴う排出の量	2,788.5 トン	2,844.2 トン	2,453.0 トン	2,475.8 トン	-7.1 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	2,663.1 トン	2,867.5 トン	2,397.2 トン	2,433.9 トン	-3.6 パーセント	
	実績に対する自己評価	武田病院における200KWCGS、25KW・CGSの排熱回収を検討をし、CO2低減に寄与した。しかし、今年度は空調負荷の増加によるCO2増加となった。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原 単 位 の 指 標	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増 減 率
	病院	事業活動に伴う排出の量 (延床面積×1/100)	13.90	14.18	12.26	12.28	-7.15 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	実績に対する自己評価	武田病院におけるCGSの排熱回収、空調設備の最適運転の改善により、基準年に比べて大きく負荷低減に寄与した。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備 考	
		26.0 トン	52.0 トン	68.0 トン	94.0 トン		
具体的な取組及び措置の内容	(2 3) 年 度	武田病院において空調設備の最適運転の検討					
	(2 4) 年 度	CGS25KWを東山病院から移転し、排熱を給湯に利用している。					
	(2 5) 年 度	省エネタイプのEHP利用、EHPから温水利用FCに変更					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措 置 の 内 容	基本的にマイカー通勤は認めていない					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価						
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備 考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合 計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	平成25年度、ライトダウンキャンペーン等への参加						
特 記 事 項							

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。